

# 授業構想チェックシート

## 作業学習版

## 《目次》

# 授業構想していくためには…

《内容チェック：学習内容がしっかりと身につくように》

チェックしてみましょう・・・P作業1～

0. 実態把握から題材目標の設定について
1. 教材について
2. 題材計画について
3. 学習環境：場面設定について
4. 学習環境：課題、目的、役割、決まりなどの設定について
5. 学習環境：教具について
6. 学習活動について
7. 教師の働きかけについて

《意欲チェック：児童生徒が活動に意欲的に取り組めるように》

チェックしてみましょう・・・P作業4～

1. 教材について
2. 題材計画について
3. 学習環境：場面設定について
4. 学習環境：課題、目的、役割、決まりなどの設定について
5. 学習環境：教具について
6. 学習活動について
7. 教師の働きかけについて

☆題材の途中で、【振り返りシート】で児童生徒の様子を記録し、授業改善をしましょう

【実践事例集（チェックシートの巻末に実践事例を掲載しています）】

## 《内容チェック：学習内容がしっかりと身につくように》

### 0. 実態把握から題材目標の設定について

- ①個別の年間指導計画で教材、題材のねらいを確認しましょう  
※作業学習における教材…担当する作業内容（分担箇所）
- ②前年度の個別の指導計画の評価やチェックリストで到達状況を確認しましょう  
→前年度の作業学習指導内容表で到達状況を確認しましょう
- ③題材の個別の指導内容を具体化しましょう  
→題材で中心的に取り上げる指導内容を具体化しましょう  
（生徒像を設定する）
- ④実態表を作って、実態把握をしましょう（工程分析表も使いましょう）  
（実態把握について）  
生徒がどんなことができている、どこでつまづいているのかや、したこと、しなかったことについて記録を取りましょう。  
特に、“できなかったこと”については、どんな仕方や様子だったか記録をしましょう。
- ⑤つまづきの原因を考えて指導する内容を決定しましょう  
実態を調べると、複数のつまづきが見られることがあります。題材においては、時間数に限りがあり、すべてのつまづきを指導することはできません。また、子どもにとっても、一度に多くの課題を解決していくことは負担がある場合が多いです。そこで、いくつかのつまづきの中で優先的に指導する内容を決めることになります。  
そのとき、以下の3点から検討しましょう。
  - （1）本当にこの題材で達成が可能ですか【可能性】
  - （2）現在の生活の中で、困っていることや指導しておく必要がありますか【必要性】
  - （3）この教材は将来の豊かな生活につながる価値がありますか【価値性】

いったんここで、 **1. 教材について**の項目をチェックしましょう

### 0. 題材目標の設定

- ⑥題材目標を決めましょう。目標を設定するときは以下の3点を基本に考えましょう
  - （1）子どもの実態は様々です。それぞれの子どもの目標の**個別化**をしましょう
  - （2）授業の評価・改善ができるように、題材の最後の姿（到達像）の**具体化**をしましょう
  - （3）子どもにとって、多くの事を一度に学ぶのは、難しいことがあります。身につけたいことを**焦点化**しましょう
- ⑦個別の教育支援計画を確認しましょう  
本人の将来の夢や保護者のニーズなどとの関連について確認や把握をしましょう
- ⑧前単元や題材で意欲的に取り組めた工夫を活用しましょう  
例：教材の仕組み、学習環境の工夫など

## 《内容チェック：学習内容がしっかりと身につくように》

### 1. 教材について

《基本の考え方》 選択した教材は次の項目にあてはまっていますか

- ①その題材で生徒に身につけてほしい力（指導内容）を指導できる教材になっていますか
- ②生徒にとって教育的価値の高い作業活動等を含んでいますか
- ③共同で取り組める作業活動を含んでいますか
- ④将来的に一人ですることが可能な作業ですか
- ⑤生徒の実態に応じていますか
- ⑥生徒の手で、スムーズに流れる分担箇所になっていますか

### 2. 題材計画について

《基本の考え方》 立てた題材計画は次の項目にあてはまっていますか

- ①一次は課題や学習に興味関心を持つ、二次は内容を身につける、三次は自分で行動を決定し、主体的に取り組むための活動を設定していますか
- ②実態に応じて段階的に到達像に近づくように、できていくことやわかることなどを段階化して計画していますか

### 3. 学習環境：場面設定について

《基本の考え方》 考えた場面設定は次の項目にあてはまっていますか

- ①活動の場所、流れ、量、しやすさを考慮して道具、材料の配置が考えられていますか
- ②学習以外のものに注意が向かない環境に整えられていますか

### 4. 学習環境：課題、目的、役割、決まりなどの設定について

《基本の考え方》 考えた課題、目的、役割、決まりなどの設定は次の項目にあてはまっていますか

- ①意識しやすい作業課題を設定していますか
- ②報告・連絡・相談の決めごとが明確になっていますか
- ③作業時間や休憩時間が明確になっていますか

### 5. 学習環境：教具について

《基本の考え方》 考えた教具、日誌、手順表などは次の項目にあてはまっていますか

- ①生徒の機能面や特性に応じて一人で取り組むことができるように工夫されていますか
- ②活動やその仕方、手順がわかりやすく伝えられるものになっていますか

### 6. 学習活動について

《基本の考え方》 考えた学習活動は次の項目にあてはまっていますか

- ①導入は、課題や興味関心が持てるよう、既習した内容を想起させる活動や本時に取り組む内容を理解できる活動を組んでいますか
- ②展開は、新たな内容を理解させるため、教具の操作の意味を説明したり、実際に教具を操作したりする活動を組んでいますか
- ③発展は、定着、応用、工夫を図るために、短時間で正確にできるように練習をしたり、操作を繰り返したりする活動を組んでいますか
- ④終末は、今日の取り組みを評価（自己評価）し、次時への意欲や期待を持てるような活動を組んでいますか

## 7. 働きかけについて

《基本の考え方》 考えた働きかけは次の項目にあてはまっていますか

- ①生徒が自分で考え、判断し、行動を起こす手助けをするという視点で働きかけが考えられていますか
- ②“何のために働きかけをするか”という教師の意図は明確になっていますか
- ③『活動を始めるとき』、『活動しているとき』、『生徒の活動に支障が生じたときや困った様子するとき』、『活動が終わったとき』など、場面や状況に応じた内容の働きかけ（誘い、示範例示、助言、説明、問いかけ、盛り上げ、賞賛、励まし、認め、意味づけ、意識づけなど）が考えられていますか
- ④『活動を始めるとき』、『活動しているとき』、『生徒の活動に支障が生じたときや困った様子するとき』、『活動が終わったとき』など、場面や状況をとらえたタイミングで働きかけが考えられていますか
- ⑤生徒の実態に応じた働きかけの形態（身体接触による、動作による、言葉かけによる、教具などの提示による）が考えられていますか
- ⑥授業全体を通して、生徒に伝わりやすいことばや提示の仕方が考えられていますか

## 《意欲チェック：児童生徒が活動に意欲的に取り組めるように》

### 1. 教材について

○意欲的な姿を導くために必要な視点を選んで工夫を考えて見ましょう

- ⑦課題を持ちやすいものですか  
  ⑧活動に参加する喜びや完成の達成感が味わえるものになっていますか

### 2. 題材計画について

○意欲的な姿を導くために必要な視点を選んで工夫を考えて見ましょう

《一次の工夫》

**※進んで取り組む、続けて取り組む、最後まで取り組むために…**

- ③取り組みやすい活動から行い、作業意欲が持てる活動が組まれていますか

**※目的、目標を持って活動するために…**

- ④活動の意味やよさが十分理解できるように計画していますか

《二次の工夫》

**※進んで取り組む、続けて取り組む、最後まで取り組むために…**

- ⑤実態に応じて段階的に到達像に近づくように、できることや分かることなどをスモールステップで計画していますか

- ⑥はじめは、大まかな作業の仕方（作業手順レベル）がわかるようにしていますか

- ⑦取り組む分担箇所について理解を深める学習が組まれていますか（知識、道具の名称、規格、作り方、作業工程レベル）

- ⑧複数の作業に取り組めるように、始めは一人でできる作業を中心にし、徐々に経験にない作業にも取り組むようにしていますか

- ⑨意欲が持てるように一人でできる作業を十分に取り入れるようにしていますか

**※目的、目標を持って活動するために…**

- ⑩取り組む課題、視点等の難易度を徐々に上げたり、増やしたりして、成功体験が重ねられるような配列になっていますか

- ⑪活動の意味やよさが十分理解できるように計画していますか

**※深く考えるために…**

- ⑫作業工程を細分化して、目標の姿に向かって理解すべきことを段階的に指導できるよう配列していますか

《三次の工夫》

**※進んで取り組む、続けて取り組む、最後まで取り組むために…**

- ⑬できるようになったことを生かす活動を組んでいますか

### 3. 学習環境：場面設定について

○意欲的な姿を導くために必要な視点を選んで工夫を考えて見ましょう

**※進んで取り組む、続けて取り組む、最後まで取り組むために…**

- ③作業に集中できるように環境を整えていますか

- ④無駄のない移動で作業ができるようになっていますか

- ⑤自分で作業準備や作業を進めることができるように、決まった場所に道具や材料を置いたり、表示や配置を工夫したりしていますか

- ⑥終わりがわかるように工夫されていますか

#### 4. 学習環境：課題、目的、役割、決まりなどの設定について

○意欲的な姿を導くために必要な視点を選んで工夫を考えて見ましょう

##### ※進んで取り組む、続けて取り組む、最後まで取り組むために…

- ④意識しやすい作業課題を設定していますか
- ⑤作業課題の意識が持続する工夫が考えられていますか

##### ※目的、目標を持って活動するために…

- ⑥作業課題を意識できる活動を設定していますか
- ⑦作業課題の達成がわかりやすくなっていますか
- ⑧報告・連絡・相談の決めごとが明確になっていますか
- ⑨班長や当番など決め、役割を意識して取り組める仕組みになっていますか

#### 5. 学習環境：教具について

○意欲的な姿を導くために必要な視点を選んで工夫を考えて見ましょう

##### ※進んで取り組む、続けて取り組む、最後まで取り組むために…

- ③作業量がわかりやすいものになっていますか
- ④手がかりに注意が向きやすいものになっていますか

##### ※目的、目標を持って活動するために…

- ⑤課題を意識できるように工夫されていますか
- ⑥活動やその仕方、手順がわかりやすく伝えられるものになっていますか

#### 6. 学習活動について

○意欲的な姿を導くために必要な視点を選んで工夫を考えて見ましょう

《導入時の工夫》

##### ※進んで取り組む、続けて取り組む、最後まで取り組むために…

- ⑤本時の学習の活動の流れや活動量に見通しが持てる活動が組まれていますか
- ⑥自分で作業準備や用意ができるように、表示や配置を工夫していますか

##### ※目的、目標を持って活動するために…

- ⑦生徒が学習上の役割を意識することができるよう活動が組まれていますか
- ⑧何のためにするのか、目的や意味、よさなどがわかるような活動が設定されていますか
- ⑨何をどのくらい、どのように取り組むかといった目標を持てるような活動が設定されていますか
- ⑩作業内容や作業量を定める活動が組まれていますか
- ⑪作業課題を決める活動が組まれていますか

《展開・発展時の工夫》

##### ※自分から進んで取り組む、続けて取り組む、最後まで取り組むために…

- ⑫学習上の課題解決に向けて、作業内容が易から難へと段階的に高まるように計画されていますか
- ⑬自分から取りかかれる、自分で正誤（良否）が確かめられる、同じ仕組みにして繰り返せるようにして、自分から次々と作業を進められる仕組みになっていますか
- ⑭間違いに気付いてやり直せる仕組みになっていますか
- ⑮何度も繰り返して取り組める活動が組まれていますか

##### ※目的、目標を持って活動するために…

- ⑯一つ一つ課題を順番に解決する活動が組まれていますか

##### ※友だちと学びあうために…

- ⑰友だちと一緒にいる、一緒に考える場面が設定されていますか
- ⑱友だち間で認め合う、評価し合う場面が設定されていますか

##### ※深く考えるために…

- ⑲解決方法や仕方などを自分で気付いたり考えたり決めたりする活動が組まれていますか
- ⑳自分の考え方や仕方を見直したり修正したりできるような活動が組まれていますか
- ㉑課題の解決の仕方を判断する活動が組まれていますか
- ㉒場面や活動を変えて、いろいろな場面を想定して取り組める活動が組まれていますか

### 《終末時の工夫》

㉓製品（仕事）の仕上がり具合や作業の進行状況を振り返る活動が組み込まれていますか

㉔次時への課題や意欲を持つ活動が組み込まれていますか

#### ※目的や目標を持って活動するために…

㉕学習した結果と目的がつながり、達成感を持てるような活動が組み込まれていますか

㉖自分で評価する活動が組み込まれていますか

#### ※友だちと学びあうために…

㉗友だち同士の評価、認め合う活動が組み込まれていますか

### 《学習活動全般における工夫》

㉘活動自体がわかりやすいものになっていますか

㉙生徒の集中力に応じた活動量か、または、終えることのできる活動量を設定していますか

## 7. 教師の働きかけについて

○意欲的な姿を導くために必要な視点を選んで工夫を考えて見ましょう

#### ※自分から進んで取り組む、続けて取り組む、最後まで取り組むために…

㉚生徒に期待感を持たせる、気持ちを盛り上げる、教師に注目することができるようにするための働きかけでは、言葉に抑揚をつける、身振りを加える、表情を変化させる、生徒の好きなものやことばを用いるなどの工夫が取り入れられていますか

㉛生徒の活動が止まったり、教師が意図する反応をしなかった場合に、生徒のつまずきを解決する（本時のめあてに迫る）ことにつながるような問いかけ、教具の提示など、段階的な働きかけが考えられていますか

㉜活動をしているときに、できている部分を十分にほめた上で、課題（本時のめあて）となる部分について「〇〇ができるようになるといいね」などと、課題の遂行につながるような効果的なことばかけが考えられていますか

㉝生徒の活動を認める場面では、何がよかったのか理解できるように、行動が起きた直後にほめる（即時強化する）ようにしていますか

㉞生徒に応じた認め方が考えられていますか

㉟生徒のモデルとなる態度で接していますか

#### ※目的、目標を持って活動するために…

㊱誤答であったり、できなかつたりした場合に、生徒が本時の課題（めあて・ねらい）を意識できるように、何がわからなかったのかを探ることができるような問いかけが考えられていますか

㊲生徒の活動を認める場面では、自分がしたことが何につながるのか、したことよさや価値を伝えられるような働きかけの手立てが考えられています（活動の意味づけが考えられていますか）

㊳活動の仕方よさを伝えられる説明、示範、意識づけをしていますか

#### ※深く考えるために…

㊴生徒が自分で判断したり考えたりできるように、生徒の出方を待ったり、「次はどうするんだっかな」などの問いかけをしたりするなど、働きかけを減らす、段階的にしていくように考えられていますか